

[挨拶とつかみ]

A：皆さん、嫌いな人はいませんか。

B：尋ねるな、そんなこと。

A：僕はいます。嫌いな人が。もう嫌で。

B：あまりね、言い切ることではないけど。何が嫌なの。

A：そいつ、吉田って言うんだけど、すごく高飛車なやつで嫌いなのよ。今どき、金髪だよ？

B：いるよ、金髪はそこら中に。街に出てないのか。

A：最近、そいつから同窓会の連絡が来て。行きたくなくてね。

B：同窓会？

A：高校のサッカー部の同窓会に呼ばれて。

B：あ、高校の。サッカー部？ あなた、サッカー部だったっけ。

A：いや、違うけど。

B：なんで同窓会に呼ばれた？

A：サッカー部の手伝いをしたよしみで。

B：手伝い？ 何をしたの。

A：ビブスってあるでしょ。あれを片付けるときに、番号通りに並べ替えるっていう。

B：しょぼいって。サッカー部が太っ腹すぎるだろ。それで誘ってくれるって。

A：生粋のドリブラーだったから。畳むのがめちゃくちゃ早かったのよ。

B：ドリブルと関係ないだろ。

A：あと、試合のとき、タオルとか手ぬぐいで席も取って。

B：場所取りね。

A：他校のやつを一人も入れなかつたから。[パンチングのポーズ]

B：GKかよ。おい、せめてパーだろ。人にパンチングするな。

A：鉄壁って言われて。

B：うるさいよ。サッカー部じゃないのに。まあ、雑務を結構していたわけね。

A：そう。そのおかげで、部内で友人もできて。[転]

B：いいことだ。

A：三箇薰っていう子がいて。

B：三箇！？同姓同名じゃない。元川崎フロンターレの。

A：え、三箇って有名人でいるの？

B：知らないのか。ドイツ戦で。

A：いや、1ミリも知らない。

B：知ってるだろ。知ってるやつの返しだろ。

A：知ってる/知らないの境界線があるとして、もう知ってる側にすごい行ってるけど、すごいミリで知らない側にあるから。よく調べないと分かんないくらい。

B：知ってるだろ。分かりにくい例えしやがって。知らないふりすぎるって。

A：VAR でね。

B：知ってないと出ないよ、その単語は。

A：でも、ドリブルも上手で。いや、他にも本田って子もいて。

B：何のフォローだよ。本田？ 本田って、もしかして本田圭佑か？

A：え、お前、よく下の名前知ってるね。知り合い。

B：いらんいらん。いいから、続けてくれ。

A：いや、その子ね。敬礼癖があって。

B：別にあの人も癖で敬礼したわけじゃないからね。

A：その子、電車通学なんだけど、改札を渡るとき

B：改札？

A：こう、IC カードを取ってね。かざすと見せかけて……、んんんんんんんん、つふううううううううう！

B：本人もやってないよ。振りかぶりすぎだし。サッカー関係ないし。

A：いやでも、リフティングが上手いし。

B：何のフォローにもなってないよ。浅いし。

A：親友なのよ。

B：ああ、そう。でも、さっき、吉田が高飛車で嫌いとか言ってたよね。金髪とか。

A：そうなんだよ。

B：サッカーで吉田って言ったら、吉田麻也選手か？

A：お前、よう本名知ってるなあ。

B：うるさいよ。あと吉田さんは黒すぎるほど黒髪だろ。なんだったら本田さんの方が金髪のイメージあるし。

A：いやでも、すごい高飛車なのよ。

B：そんなイメージないけどな。

A：その吉田ってやつね。頭にこう、バンダナして。その額の方に、すごい座高の高い、将棋の飛車を括りつけてるよね。

B：……誰だよ。サッカーのサの字もないぞ、面影が。

A：あるだろ。

B：ねえよ。座高の高い飛車ってなんだよ。

A：将棋盤があるだろ？ 普通なら一マスのところ、縦に二マスある飛車のことだよ！

縦に二マスあるから、一回踏まれるだけじゃ取られなくて、二回踏まれないと相手に取られないんだよ！ で、二回踏まれたら、分裂してミニ飛車になるんだよ。まあ、ミニって言っても通常の飛車の大きさだけど。だから、デカクリボーミたいなことだよ。

B：もういいよ。